

特別養護老人ホーム ふしの白寿苑

1 基本方針

入居者の尊厳を守り、安心して楽しく生活できる環境と良質なサービスの提供に努める。
職員の人材育成に努め、経営意識を持って、よりよいサービスが提供出来るよう努める。
共生社会の一翼を担う地域福祉の推進と、信頼される施設作りを目指す。

2 今年度重点事業目標

(1) 全室個室ユニット型施設の特徴を活かした安定的経営

- ア コロナ等感染症や怪我、身体拘束、虐待を予防し、安全、安心なサービス提供に努める。
- イ 省エネや業務見直しにより、経費削減に努め、経営意識を持って効率的運営を目指す。
- ウ 健康管理やリスク予防、迅速な入退所等で稼働率入所96%短期入所90%を目指す。
- エ 事業活動に必要な関係法令や諸規定を遵守し、報酬改定に添った健全な経営を目指す。

(2) チームや多職種連携で安全・安心な福祉サービスの提供

- ア 多職種連携とチームケアで全室個室のユニット環境を有効活用した個別ケアを実施する。
- イ 認知症等入居者の心を理解し、安心出来る環境で、「その人」に寄り添ったケアに努める。
- ウ ケアプランは、本人・家族ニーズと真摯に向き合いPDCAサイクルで計画を実施する。
- エ 食形態や口腔ケア、姿勢調整で、誤嚥性肺炎の予防と「食べる楽しみ」の維持に努める。
- オ 手仕事や生活リハビリなど楽しさとなじみのある活動で、重度化予防と機能維持に努める。
- カ 経管栄養や喀痰吸引等医療行為が必要な人に、安全に医療的ケアが提供出来るよう努める。
- キ 家族や多職種連携で、コロナ禍でもその人らしい看取り期のケアが提供出来るよう努める。

(3) 組織力強化のための人材確保、人材育成、離職予防

- ア ホームページ、広報誌、人材バンク、個別ネットワーク等でつながり、人材確保に努める。
- イ オンライン等で各種研修を受講し、知識・技術、価値の習得と職員の資質向上に努める。
- ウ 併せて職種・階層別等の研修受講や資格取得で利用者支援のスキルアップに活かす。
- エ 感染収束後は他施設や他機関と交流を検討し、専門スキルや業務の視野拡大に努める。

(4) コロナ禍での家族交流と地域福祉の推進

- ア 家族交流は間接面会、ズーム、タブレット、電話等通信機器、季節のたよりで行う。
- イ 居宅介護支援事業は、地域と連携を図り、地域で在宅生活を支えるという視点で支援する。
- ウ 短期入所事業は感染予防策の徹底で事業を継続し、在宅生活支援と待機者支援に努める。
- エ 感染収束後はボランティア等地域との交流を実施し、共生社会の一端が担えるよう努める。

(5) 働きやすい職場環境作りと安全衛生の充実

- ア 福祉用具、福祉機器等の適切な活用で、入居者、職員とも安全、安心な環境作りに努める。
- イ 子や孫育て、家庭介護などワークライフバランスを意識した魅力ある職場作りに努める。
- ウ メンタルヘルスの推進とハラスメント予防の為、安心して相談できる環境作りに努める。